

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 15 日

事務事業名		民生委員推薦会運営事業				事業区分		担当		
						新規/継続 単独/補助	継続 補助	事務事業No.	010401000470	
政策 体系	政策体系上の位置付け							所属課	040101	
									社会福祉課	
	総合計画の施策名	0104 地域福祉の推進						課長名		
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ	社会福祉G
系	施策名	04	地域福祉の推進						担当者名	社会福祉G
	手段名	01	①地域福祉活動の推進							
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計				
	01	03	01	01	02	00	社会福祉総務事業			
法令根拠	民生委員法									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 民生委員推薦会は、民生委員法に基づき、市長が委嘱した市議会議員、民生委員、社会福祉事業を実施する関係者、社会福祉団体の代表者、教育関係者、関係行政機関の職員で構成れ、10名以内で組織される。 民生委員推薦会が民生委員を推薦するにあたっては、市町村の議会の議員の選挙権を有する者のうち、人格識見高く、広く社会の実情に通じ、かつ、社会福祉の増進に熱意のある者を民生委員候補者として県に推薦する。 推薦会委員の任期は令和3年3月31日までの3年間。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【業務の内容】民生委員児童委員の一斉改選 (3年ごと) における候補者の選考また、欠員が生じた場合の候補者の選考を行う。茨城県社会福祉審議会の開催時期に合わせ、市推薦会を開催する。 【主な活動】 ・欠員地区の候補者の選考を随時行った。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
3年ごとの一斉改選の際に推薦会を開催する。また随時民生委員に欠員が生じた場合に、欠員補充のための推薦会を開催する。		開催回数	回	4.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
民生委員推薦会委員		委員数	人	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
福祉施策の全般にわたる各種関連業務等に関し、行政とのパイプ役として適任者を選任するため、担当地区区長等との調整、地域の実情等を勘案しながら推薦を行う。		被推薦人数	人	100.00	0.00	2.00	1.00	1.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)			期間限定 総投入量
投入量	事業費 内訳	財源 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	18	18	18		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	42	42	42		0
			事業費計（A）	千円	60	60	60		0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			
事業費の内訳	02年度事業費 実績（千円）					03年度事業費 予算（千円）			
	01 報酬	60				01 報酬	60		

事務事業名	民生委員推薦会運営事業	事務事業No.	10401000470	所属課	社会福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
民生委員法の規定に基づき、3年毎に一斉改選を行う。市内の各層から民生委員児童委員候補者を選出するため設置が義務付けられている。また、委員に欠員が生じたときには速やかに選任を行う。 民生委員推薦会は合併以前から組織されており、市になって再組織された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	☒ 結びついている 行政とのパイプ役として適任者を選考するため、地元区長との調整をしながら、広く社会の実情に通じ、且つ社会福祉の増進に熱意のある者の推薦を行、うことにより、地域住民が安心できる地域の実現を図ることができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	☒ 妥当である 民生委員推薦会は民生員法に基づき設置しなければならない。また、各地域の意向を集約し、福祉に理解を示す適材の確保には不可欠である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	☒ 向上余地がない 民生委員推薦会は必要に応じ開催されるもので委員10名で組されている。適正であり成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	☒ 影響有 民生委員推薦会は、民生委員法に基づき設置されており、廃止・休止はできない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))
	(他に手段がある場合) ☒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 民生委員推薦会は、民生委員法に基づき設置されており、類似事業との連携は図れない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	☒ 削減余地がない 民生委員推薦会の委員定数は、民生委員法等に基づき定められており、現人数は必要であるため削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
☒ 公正・公平である 委員の選任にあたっては、公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	今年度は、任期途中で辞任された民生委員が2名おり、その欠員について地区へ推薦依頼をしたが、成り手が見つからず推薦会の開催はなかった。 次年度は、欠員地区の2名の候補者を推薦する予定である。																						
②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☒ A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 ☐ B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐